

慶和園



畑クラブで収穫の「にんにく」500株を京極町飲食店組合様へ寄贈！



「畑クラブ」ではイチゴ、枝豆、にんにくと次々と作物が実り収穫作業に汗をかく時期となりました。にんにくの栽培を始めて5年、今年も満足のい

くできとなりました。さてその「にんにく」ですが例年慶和園の夏祭り「ふれあいの夕べ」にて屋台販売を行ってきましたが、今年度はお祭りも中止。しかし沢山収穫した、にんにくを「京極町内の皆さんに食べてもらい、皆さんを元気づけたい！」との思いから、メンバーで話しあった結果、京極町内の飲食店にお配りし、美味しく

調理していただけたらとの願いを込め、「京極町飲食店組合」様へ寄贈させていただく運びとなりました。畑クラブを代表してご利用者の中田正利さんが、京極町飲食店組合、佐々木博史組合長様へお届けしました。組合長からは「一般商品としても引けを取らない出来で、組合員へすぐに届けたいです。」とのお言葉を頂き今後の活動の励みとなりました。



日々、勉強！

「ケアプランに基づくサービス提供の勉強会」を開催しました。

昨年度はケアプランの重要性を切実に感じた年であり、慶和園では「ケアプランに基づくサービス提供の勉強会」を3回開催いたしました。職員目線ではなく、ご利用者目線で考えること。ご本人は何ができて、何ができないのか？何に困っているのか？など、事例を用いてグループワークを行い、とても充実した時間でした。続編として今年度も3回の開催を予定しています。第1回目を7月6日に開催し、ケアマネ、栄養士、看護師、相談員、ユニットリーダーが参加しました。昨年学んだことを踏まえ、今回は、ご利用者ケアをポジティブな視点で捉えること、ケアをすすめる上で本当に必要な情報の整理、について学ぶことができました。講師は昨年度に引き続き、フリー保健師の小川原清美さんをお招きしています。常にポジティブな先生と当園の運営テーマ「共にポジティブ」とが相まって今後の展開、現場の変化が楽しみでならない勉強会です。



新任職員にQ&A

めいすいユニット

いわき じゅん
岩木 潤 介護職員

【プロフィール】

岡山県は倉敷出身です。

Q 趣味は？ A：ドライブ、温泉、ビリヤード、ゴルフ、お酒、アロマ

Q座右の銘？

A：「諸行無常」（鴨長明）、
「人間っていうのはさ、なんかこうあの、冗談か本気か分かんないギリギリのところまで生きてるんじゃないかしら。」（松田優作）
「考え方1つで世界は変わる。」（ルパン三世）

Q介護の仕事を始めたいきっかけは？

A：昨年末に慶和園にハローワークを通じて見学に来て、澁谷施設長と八丁栄養士に館内を案内してもらいました。将来的に資格を取得して両親の為に役に立てればと思い、今春からお世話になっています。

Q人生で一番幸せだった事は？

A：自分の好きなように日本中を飛び回れている事。

Q最後に一言 1日1日を出来る限り大切にしていきたいです。日々学ぶ気持ちを持って協力し合い職務を全うしたいと思っています。宜しくお願いします。(^_^)v



『慶和園だより』NO.236 令和2年9月10日発行

〒044-0132 虻田郡京極町字更進 780 番地 1


TEL(0136)42-2201 FAX(0136)42-2209

編集発行：老人福祉施設 慶和園 広報委員会

※「慶和園」だよりに掲載の個人情報、ご本人もしくは、ご家族様の許可を得て使用させて頂いております。

-慶和園運営方針-

- ・慶和園はひとつ。ご利用者・職員で慶(喜)びの和を大切にします。
- 私たちは、チームでご利用者の想いを実現させます -
- ・慶和園は一人ひとりを大切にします。
- 私たちは、自分以外の全ての人に真心をもって親切丁寧に接します -
- ・慶和園は地域とのつながりを大切にします。
- 私たちは、地域における役割を理解し信頼を得られる行動をとります -

このコーナーを担当している私（広報委員：上田中）の最近の悩みは「平坦な場所ですみずく事」。

「見えない何かがあったのでは？」と体力の低下を頑なに認めず怪奇現象のひとつとして片づけています…。

さて、高齢者の日々の生活で心配なことに「転倒」があります。転倒して捻挫や打撲、悪ければ骨折にもつながることも…。

「年齢をとれば転ぶのもしょうがない」と諦めずに転倒予防に備えたいものですね。予防策のひとつとして‘靴’があげられます。と言うことで、今回は「高齢者の靴選び」についてご紹介いたします。高齢者の靴は地味・・・なんてことはありません。今では色やデザインも豊富です。

怪我を予防して過ごしやすい秋を楽しまれてはいかがでしょうか♡



※イラストは参考として載せています。

※お体の状態により条件が合わない場合があります。

～ 高齢者の靴選び ポイントはここ ～

① 軽い靴

高齢になると足の筋力が落ち、すり足で歩くようになります。その為、足が上がりやすい軽い靴を選びましょう。

② かかと回りが強い

足が固定され、グラグラしないしっかりした構造のものを選びましょう。

③ 脱ぎ履きが楽

ジッパーやマジックテープなどで調整できるものは便利です。

④ つま先が反り返ったもの

つま先が反り返っているものは、つまずきにくくなります。また、しっかり踏ん張ることが出来ます。

高齢者の靴選びの主なポイント



小さな「夏祭り」を満喫

8月27日に京極・尻別ユニットでは合同企画「夏祭り」を開催しました。ご利用者に少しでも季節を感じてもらえようと、夏祭りらしい食べ物やゲームなどを準備。ご利用者には定番のかき氷やスイカ、ラムネ、ノンアルコールビールの他、白玉団子やチョコバナナ、綿あめが振舞われ、小さなお祭り会場はたくさんの笑顔であふれました。例年になく厳しい残暑が続いていますが、皆さんで「夏祭り」を満喫することができて良かったです。



コロナ禍でも ～思いを馳せて～お盆法要

8月17日地域交流スペースにて“お盆の法要”が行なわれ町内、広徳寺の住職に來訪していただきました。3月に予定していた彼岸法要がコロナの関係で中止となったので、園内の法要は昨年秋から半年ぶり。当日は感染症対策を施しての対応で、住職はフェイスガードを着用、参加ご利用者はマスクと間隔を空けての着席となりました。読経が始まると、順番にお焼香されてそれぞれ故人を偲びました。環境が変わろうとも、法事を大切にするご利用者の姿は変わらず、皆さん心を静めて思いを馳せていました。



【ご厚志に感謝いたします。】

8月1日～31日分 <<敬称略>>順不同

【寄付品】 有馬正幸（京極町）- サロンドシエル（同）- 永江涼子（同）- 松浦信一（同）- 前川正行（同）- 坂根商店（同）- 飲食店組合（同）- 森隆夫（同）- 三田地留美（余市町）- 氏家記見江（札幌市）- 中島康夫（同）- 高橋清二（同）- 岡本久志（同）- 馬屋原鉄男（千葉県）- 佐藤元子（俱知安町）- 麻生英子（喜茂別町）

以上

【2020年9月15日～2020年10月15日の行事予定】

- | | | | |
|------|-------------|--------|---------------|
| 【9月】 | 25日 | 書道サークル | |
| 15日 | ご利用者健康診断 | 29日 | ご利用者懇談会 |
| 16日 | 養護:買い物 | | |
| 18日 | 慶和園敬老会 | 【10月】 | |
| 21日 | 出張理容(竹山美容室) | 12日 | 出張理容(サロンドシエル) |
| | 養護:買い物 | | |



～相手の心を想う～ 施設長が考えたこと。

この度、国のコロナ対策の政策として、高齢者施設に対して感染拡大防止対策や介護サービスの提供体制の確保のための交付金事業が施行されました。事業所にとっては、大変ありがたいことではありますが、当事業も元をたどれば、国民の税金。次世代の介護・施設運営を見越して大切に活用させていただきたいと考えます。施設長 瀧谷 剛